

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数64件(前月比4. 6、前年同月比5. 8)で、10月に入って増加し始めましたが、11月も更に増加しています。昨年より早い流行が予想されます。熊本41件、有明19件の報告となっています。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向)

報告数4, 004件(前月比1. 2、前年同月比1. 8)で、10月から増加に転じ、11月も増加を続けています。感染性胃腸炎(前月比1. 4)、A群溶連菌咽頭炎(前月比1. 4)、水痘(前月比2. 1)の増加が主な原因と考えられます。その他咽頭結膜熱(前月比1. 2)とわずかな増加が見られました。RSウイルス感染症は(前月比0. 5)と半減しました。百日咳の報告が2件ありました。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数240件(前月比0. 5、前年同月比1. 1)で、今年は例年より早く7月から流行が始まり、連続的な増加を続け報告数も多かったのですが、11月に入って半減しています。しかしまだ今後の推移に注意が必要です。菊池、宇城からの報告が多いです。
2. 咽頭結膜熱: 報告数217件(前月比1. 2、前年同月比1. 3)で、8月、9月と増加し10月にはやや減少していましたが、11月は再び増加に転じ、例年よりかなり多い報告数が続いています。菊池、熊本からの報告が多く、幼児の罹患が大多数です。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数391件(前月比1. 4、前年同月比1. 4)で、10月から増加が続いています。例年よりやや多い報告数です。菊池からの報告が多いです。1歳～15歳の年齢に分布しています。
4. 感染性胃腸炎: 報告数2, 222件(前月比1. 4、前年同月比0. 5)で、10月から増加に転じ例年同様11月は更に増加しています。例年これからの季節に流行しますので、今後の動向に注意が必要です。菊池、有明、山鹿からの報告が多いです。
5. 水痘: 報告数289件(前月比2. 1、前年同月比0. 9)で10月から増加に転じ、例年同様11月は更に増加してきました。今後の動向に注意が必要です。菊池、天草からの報告が多いです。
6. 手足口病: 報告数209件(前月比1. 1、前年同月比1. 5)で7月のピークから急激に減少し、9月から多少の増減はありますが少ない報告数が続いています。
7. 伝染性紅斑: 報告数7件(前月比一、前年同月比1. 8)で、昨年から引き続き少数で推移しています。
8. 突発性発疹症: 報告数150件(前月比0. 7、前年同月比0. 8)で、例年通りの傾向でした。

9. 百日咳: 報告数2件(前月比ー、前年同月比ー)で、今年に入って初めて2件の報告でした。熊本、菊池から1件ずつで7歳、9歳の報告です。
10. ヘルパンギーナ: 報告数12件(前月比0.3、前年同月比0.3)で、7月以降減少を続けています。例年同様の傾向です。
11. 流行性耳下腺炎: 報告数9件(前月比0.4、前年同月比0.1)で、1年を通じて報告数は少ないままです。1昨年、昨年と減少を続けています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎: 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎: 報告数62件(前月比0.7、前年同月0.8)と減少しています。地区別では熊本52件、菊池7件、有明3件の報告です。年齢別ではこれまで同様20～39歳代にピークがありますが、先月同様5歳以下の乳幼児層にも散発しています。保育園、幼稚園等での感染予防が必要と思われます。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症: 報告数 52件(前月比 0.8、前年比 1.0)で、前月比は減少し、前年比は同数でした。男女別は、男性18件、女性34件で、女性に多く見られます。年齢は、男性は15～54歳に見られ、女性は15～44歳に見られます。地域別は、熊本が33件、次いで八代7件、御船、有明各4件、菊池3件、宇城1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数 23件(前月比 1.5、前年比1.3)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性13件、女性10件でした。年齢は、男性は20～70歳以上に幅広く見られ、女性は20～70歳以上に幅広く見られます。地域別は、熊本が17件、八代4件、次いで有明、天草各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ: 報告数 7件(前月比 0.9、前年比1.0)で、前月比は減少し、前年比は同数でした。男女別は、男性4件、女性3件です。年齢は、男性は25～44歳、女性は20～39歳に見られます。地域別は、熊本が4件、次いで御船、八代、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症: 報告数15件(前月比0.7、前年比1.2)で前月比は減少し、前年比は増加しています。15件全例が男性で、年齢は20～54歳に見られます。地域別は、熊本が9件、次いで宇城3件、有明2件、八代1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎: 報告ありませんでした。
2. 無菌性髄膜炎: 1件(前月比0. 1、前年比0. 3)の報告がありました。有明1件で、30～34歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎: 報告ありませんでした。
4. クラミジア肺炎: 報告ありませんでした。
5. 感染性胃腸炎: 報告ありませんでした。
(ロタウイルス)

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:
28件(前月比1. 3、前年比1. 8)の報告がありました。熊本11件、山鹿2件、阿蘇6件、八代3件、水俣2件、人吉2件、有明2件で、年齢は0歳:1件、5～9歳:1件、10～14歳:1件、25～29歳:1件、40～44歳:1件、45～49歳:2件、65～69歳:2件、70歳以上:19件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:
4件(前月比 — 、前年比 —)の報告がありました。熊本1件、八代1件、人吉1件、有明1件で、年齢は0歳:1件、1～4歳:1件、55～59歳:1件、70歳以上:1件でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:
報告ありませんでした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:
報告ありませんでした。

届け出対象感染症

- 1類感染症: 報告はありませんでした。
- 2類感染症: 結核:16件
- 3類感染症: 報告はありませんでした。
- 4類感染症: 日本紅斑熱:7件
レジオネラ症:1件
つつが虫病:1件
重症熱性血小板減少症候群:2件
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病:1件
侵襲性肺炎球菌感染症:3件
風しん:1件